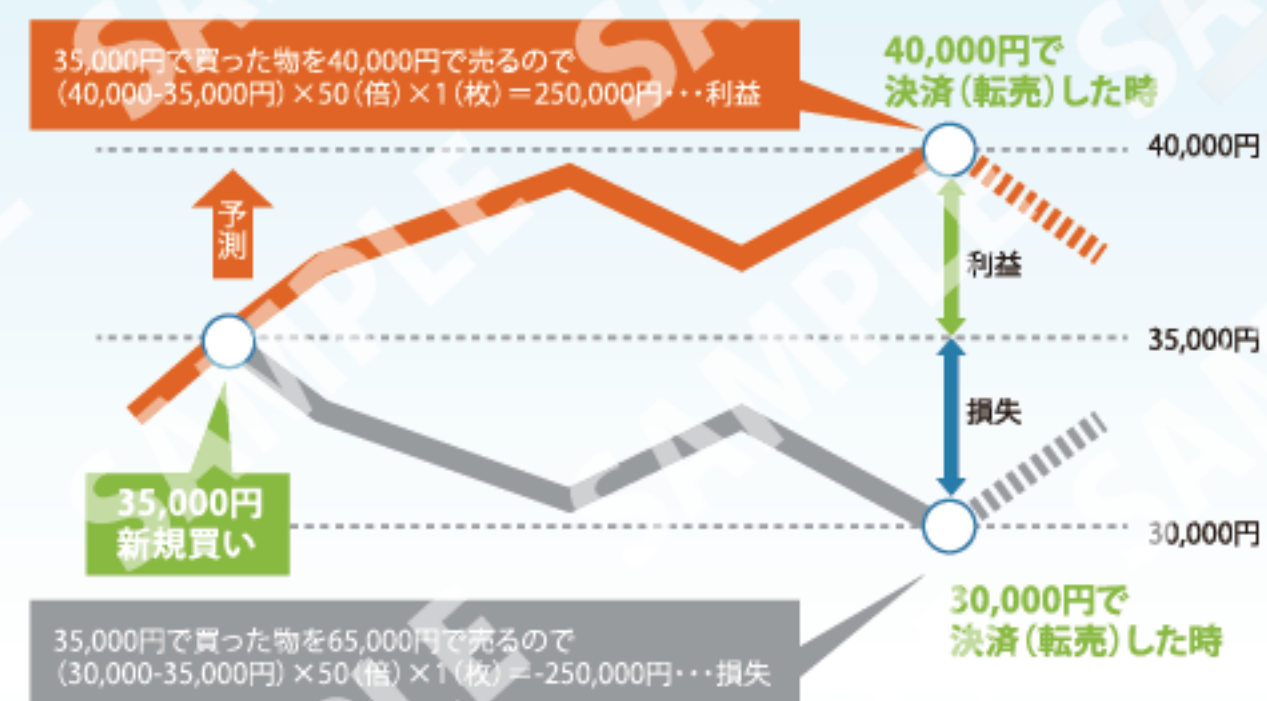
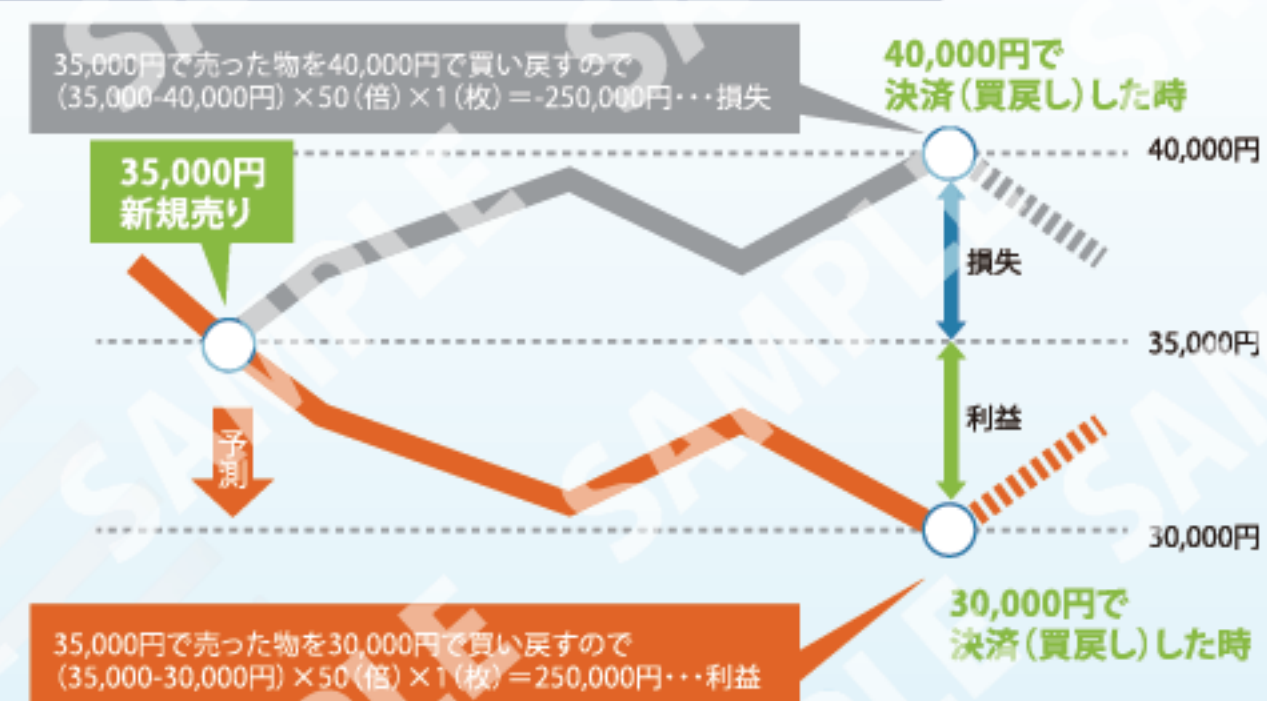


原油先物取引の仕組みについて

「買い」からの取引例(原油・倍率50倍)



「売り」からの取引例(原油・倍率50倍)



取引の種類	現金決済先物取引
現金決済先物取引の対象	ドバイ原油の価格を指標とする中東産原油
毎月	新発会日の属する月から前月の6月以内の毎月(6限月制)
立会時間	日中立会 寄付届合わせ: 午前8時45分 ザラ/取引: 午前8時45分~午後3時10分 引継ぎ合わせ: 午後3時15分 夜間立会 寄付届合わせ: 午後4時30分 ザラ/取引: 午後4時30分~翌日午前5時25分 引継ぎ合わせ: 翌日午前5時30分
取引単位	50キロリットル(1枚)
停値とその幅	1キロリットル当たり10円単位
サーキットブレーカー幅 (SCB幅)	夜間立会開始時に前計算区域の幅入値段 (新発会日の場合は前月月の幅入値段を基本設定)
証拠金	(株)日本商品取引協会の証拠金計算の基礎となる値(変数)を設定

【商品先物取引をするにあたっての留意事項】

商品先物取引は、相場の変動によって利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、その利益や損失も預託している取引証拠金等の額に比べて高いものとなる場合があります。実際の取引金額は取引本証拠金の額の10倍から50倍という著しく大きな額になります。また、取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので、注意が必要です。但しその額は、商品や相場の変動によって異なり、一律ではありません。

商品先物取引は委託に際して取引証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する取引本証拠金の額は商品により異なりますが、最高額は、最低取引単位(1枚)当たり000,000円です。
商品先物取引は委託に際して委託手数料がかかりますが、その額は商品によって異なりますが、最高額は、最低取引単位(1枚)当たり00,000円(消費税込み)です。(平成28年0月〇日現在)

商号 株式会社000000 (日本商品先物取引協会会員)

【日本商品先物取引協会相談センター】

☎03-3664-6243 所在地:東京都中央区日本橋小網町9-4

※当社の企業情報は当社店頭又は日商協ホームページで閲覧できます。

POWER UP MONEY PLAN

商品先物取引の資産運用

Dubai Oil 原油取引



価格変動の大きい原油相場でダイナミックな資産運用

原油価格は今年、世界的な需要鈍化やシェールオイルの大規模増産などを背景に国際原油需給が緩和状態に陥っていることにより、リーマンショック後の大暴落に匹敵する安値を記録しています。

お取引のメリット

資金効率の良い商品先物取引をマネープランにお役立て下さい。

総取引金額の5~10%の資金(委託本証拠金)でお取引が始められます。資金効率の良い資産運用が可能です。

「売り」からでも利益を追求できるのが大きな特長です

株式や債券などの現物取引とは異なる先物取引は値下がり局面からでも利益を追求することができます。値上がり、値下がりどちらの局面からでも利益を追求できます。

自由に差金決済できるから、短期運用もチャンス。

先物取引の決済方法の大半は差金決済です。お取引期間中ならいつでも「転売」「買い戻し」ができ、その時の値動きによる差金の授受だけでお取引を終了させることができます。

有価証券(株券・国債・公社債)がご利用になります。

お取引は現金だけでなくお手持ちの有価証券が活用できます。有価証券の名義はそのままで、利息・配当金も得られます。

※先物取引は元金が保証されているものではなく、短期間で大きな利益を収めることもありますが、相場の変動により予想が外れた場合は損失が生じることもあります。

ドバイ原油とは

ドバイ原油は、アラブ首長国連邦(UAE)の7酋長国の1つ「ドバイ(Dubai)」で産出される原油をいいます。ドバイ原油は、他の中東産原油と違い、ほぼ全量が定期契約に基づかないスポット市場で取引されるため、価格の指索性が高い特徴があります。現在世界の原油市場は、その消費地ごとに北米・欧州・アジアの三市場で形成されています。それぞれの消費地の需給を反映した価格形成がなされ、アジアではドバイ原油が原油価格の指標(マーカ原油)とされています。原油は天然資源のため、その質により価格が異なります。ガソリンや灯油が多く抽出できる「WTI」が高値で取引されるのに対し、重質硫黄が多い「ドバイ原油」は「WTI」より若干安くなる傾向があります。

2015年 世界の国別石油生産率

総生産量4,311,870,000トンに対する国別割合 (うちOPEC加盟国の生産量は43%)



2015年 世界の国別石油消費率

総消費量4,331,344,000トンに対する国別割合



米ドル円、ドバイ原油価格と米シェールオイル生産量推移



ドバイ原油価格の変動要因

ドバイ原油価格 値上がり

OPECの原油減産
OPEC加盟国の減産
シェールオイルの生産減産
米ドル安

地政学的リスク拡大
新興国の急激な経済成長

OPECの原油増産
OPEC不参加国の増加
シェールオイルの生産増加
米ドル高
地政学的リスク減少

開発途上国の経済成長の停滞

ドバイ原油価格 値下がり